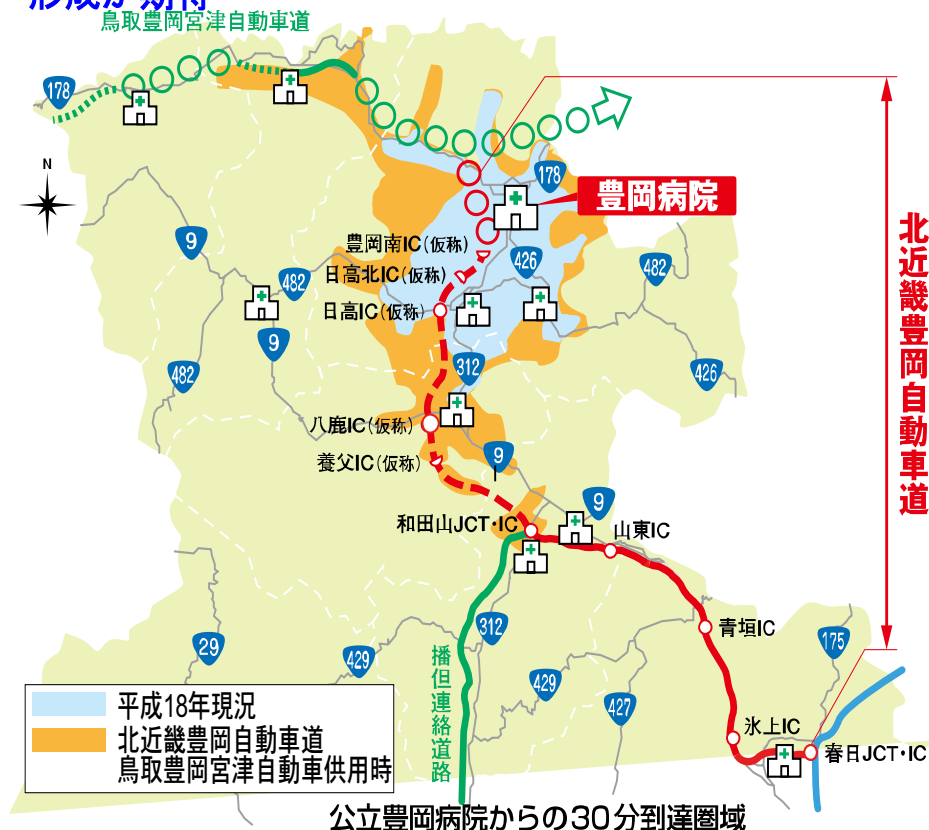


(2)暮らし・環境  
①生活環境の向上

高規格幹線道路の整備 北近畿豊岡自動車道(兵庫県)

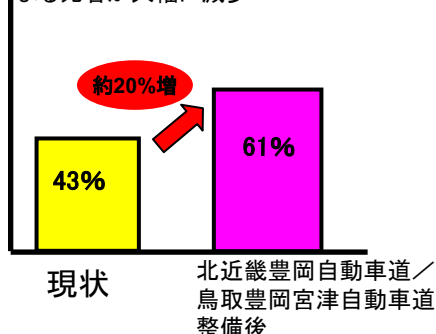
30分到達圏域の拡大に伴う「助けられる命」の増大に期待

第3次救急医療施設豊岡病院からの30分到達圏域の拡大と北近畿豊岡自動車道を活用した救急医療網の形成が期待



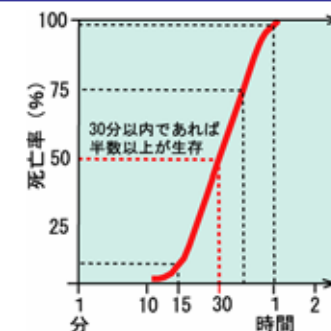
豊岡病院まで30分圏内の但馬地域の人口カバー率

※0分圏内の拡大に伴い、事故・急病等による死者が大幅に減少



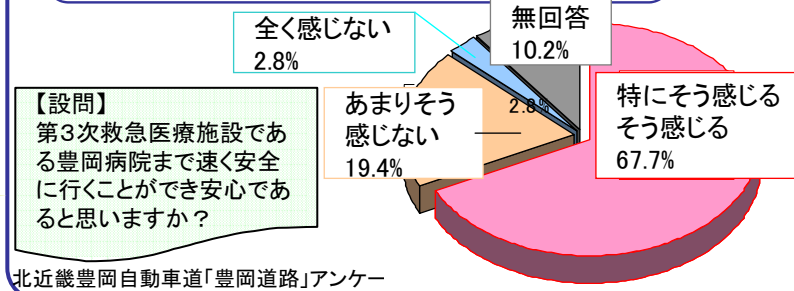
出典：豊岡河川国道事務所

緊急時の輸送に要する時間と死亡率の関係



出典：カーラー「緊急事態における経過時間と死亡率の関係」(1981)

住民の70%が北近畿豊岡自動車道が但馬地域の医療への貢献を期待している



・第3次救急医療施設まで0分圏域内の人口カバー率が低く、救急医療網が未形成である  
⇒ 緊急医療機関までの搬送時間が短縮され、「助けられる命」の増大が期待される

(2)暮らし・環境  
①生活環境の向上

高規格幹線道路の整備

一般国道42号那智勝浦道路(和歌山県)

医療機関にインターチェンジが直結、スムーズな救急搬送を支援

新宮市立医療センターへの救急搬送者数(H20年度)



▼医療センターに直結した新宮南ICの状況



【那智勝浦道路開通による救急隊員の声】

- ・ 台風や高波の時は、非常に走りにくかったが、道路が開通し安定した搬送が可能となった。(那智勝浦消防署)
- ・ 道路線形が良くなったため、救急車内で隊員が立ったまま患者の応急処置をすることが可能になった。(太地町消防署)

(H20.11 ヒアリング結果)

- ・ 国道42号は縦断勾配や曲線半径が構造諸元を満たしていない箇所が多く存在
- ・ 主要渋滞ポイントが2箇所存在し、救急搬送時に時間を要する

⇒ 構造諸元を満たさない箇所や渋滞ポイントを解消し、救急医療機関へのスムーズな搬送を支援

(2)暮らし・環境  
 ①生活環境の向上

**歩行空間、バリアフリー対策、無電柱化**

主要地方道宇治淀線(宇治橋通り) (京都府)

観光客等の安全で快適な歩行空間の確保と景観形成の創出

The image contains several key components:

- Map (Top Left):** Shows the project location on a map of Kyoto Prefecture, highlighting the main local road Uji-Yodogawa Line (Uji Bridge Street).
- Site Map (Middle Left):** A detailed map of the project area (L=800m) showing the intersection with JR Nara Line, Uji Station, and various local roads like '向島宇治線' and '市道 宇治若森線'. It also marks '宇治停車場線 事業区間 L=50m' and '大津南郷宇治線'.
- Street View (Top Right):** A photograph of the street with proposed improvements labeled: '交差点ハンプ 自発光舗' (interchange hump with self-luminous pavement), '視線誘導標' (line-of-sight guidance signs), 'アローライン' (arrow lines), 'リブ式区画線' (rib-style lane markings), and '既設側溝のリニューアル' (renovation of existing side drains).
- Cross-section Diagram (Bottom Right):** A technical diagram showing the road layout with dimensions: '1m以上 歩行空間' (1m+ pedestrian space), '3m(~5m(最大)) 車道' (3m-5m max roadway), and '1m以上 歩行空間' (1m+ pedestrian space). It also shows '電線共同溝 (電力系管路)' and '電線共同溝 (通信系管路)' (cable ducts for power and communication).
- Comparison Photos (Bottom Left):** Two side-by-side photos of the same street. The left one is labeled '現況' (Current state) and shows '歩行者と車両が混在(宇治橋通り)' (Pedestrians and vehicles mixed on Uji Bridge Street). The right one is labeled '社会実験' (Social experiment) and shows '社会実験の様子(宇治橋通り)' (Social experiment scene on Uji Bridge Street), with a pink arrow pointing from the current state to the experiment.
- 整備イメージ (Bottom Right):** A label for the '整備イメージ' (Improvement image) associated with the cross-section diagram.

・多くの買い物客、観光客で賑わっているが、歩行者と車両が混在し、非常に危険な状況  
 ⇨ 歩車共存道路と電線類地中化により、歩行者等の安全で快適な通行の確保

## (2)暮らし・環境

### ①生活環境の向上

#### 歩行空間、バリアフリー対策

## 交通バリアフリー道路特定事業 (三宮地区・元町地区・神戸地区・垂水地区)(神戸市)

バリアフリー対策の実施により、「人にやさしいみちづくり」を実現



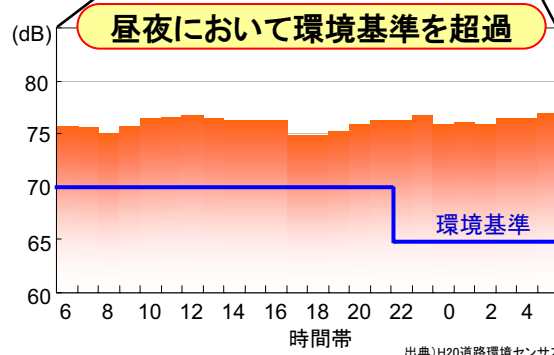
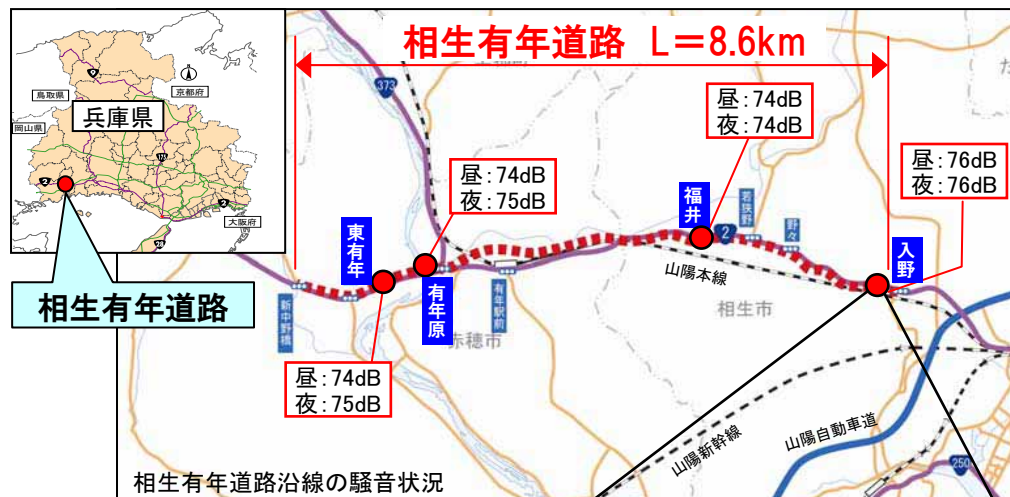
- ・高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境づくりという観点から、だれもが安心して歩ける安全なみちづくりが求められている
- ⇒「神戸市交通バリアフリー構想」を策定し、4つの重点整備地区(三宮地区・元町地区・神戸地区・垂水地区)において、重点的に道路のバリアフリー化を図る
- ①交差点部の改善(たまり部の確保、段差解消など)、②歩道勾配の改善(波打ち解消など)、③歩道舗装の改善(透水性舗装)、④視覚障害者誘導用ブロックの設置など

(2)暮らし・環境  
②道路環境対策

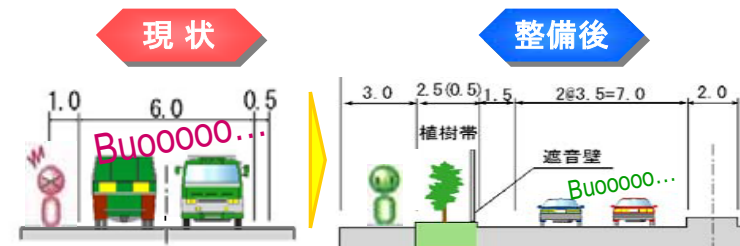
沿道環境対策

一般国道2号相生有年道路(兵庫県)

騒音を軽減し、沿道環境が改善



沿道付近の騒音が軽減され、沿道環境改善に寄与



・国道2号の相生市・赤穂市域は大型車交通が多く、騒音値が環境基準を大きく上回っている  
⇒ 道路拡幅やバイパス整備、遮音壁や植栽帯の設置、高機能舗装等により、沿道環境を改善

(2)暮らし・環境  
 ②道路環境対策

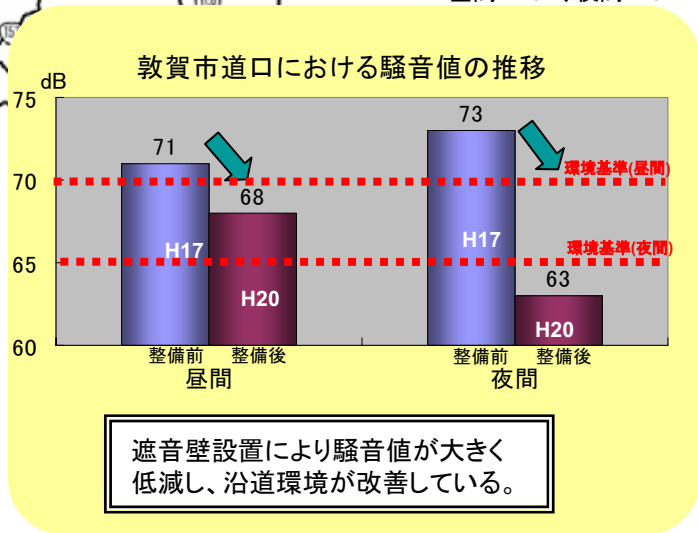
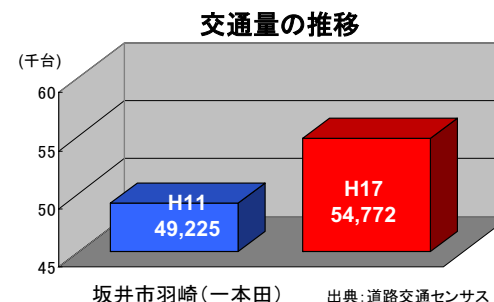
沿道環境対策

一般国道8号福井8号環境対策(福井県)

騒音の環境基準を超える地域の沿道環境を改善



国道沿いに人家が連担している  
 (坂井市丸岡町羽崎)  
 昼間 74dB、夜間74dB



国道沿いに小学校が隣接している  
 (遮音壁設置状況: 敦賀市道口)

・国道8号の交通量は近年増加傾向にあり、沿道環境の改善が望まれている  
 ⇨ 遮音壁設置による騒音低減効果により、沿道環境を改善

(2)暮らし・環境  
②道路環境対策

沿道環境対策

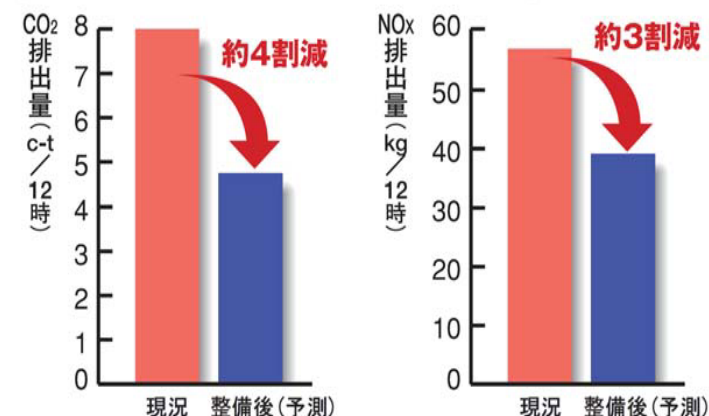
一般国道9号京都西立体交差(京都府)

交差点を立体化し渋滞を緩和させる事により沿道環境の改善が期待出来る



■立体交差による沿道環境の改善効果(予測結果)

【7時～19時(12時間)(京都市街方向、亀岡方向を合計)】



※道路投資の評価に関する指針(案)の算定式からの沿道環境改善予測結果より  
(現状:平成14年10月8日(火)、11月9日(土)のプロブカーデータより)

走行速度の向上で、CO<sub>2</sub>約4割、NO<sub>x</sub>約3割削減

交差点を立体化し渋滞を緩和させる事により、走行速度が向上し、窒素酸化物、粒子状物質、二酸化炭素の排出量を同時に低減することができます



写真①: 千代原口交差点付近の交通混雑



写真②: 五条天神川交差点付近の交通混雑

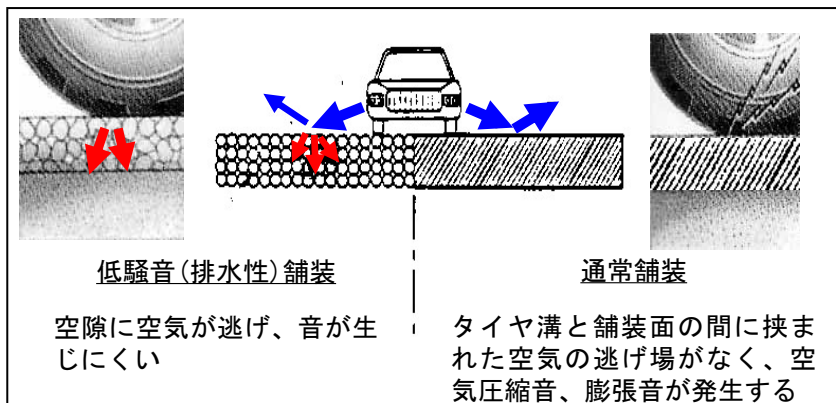
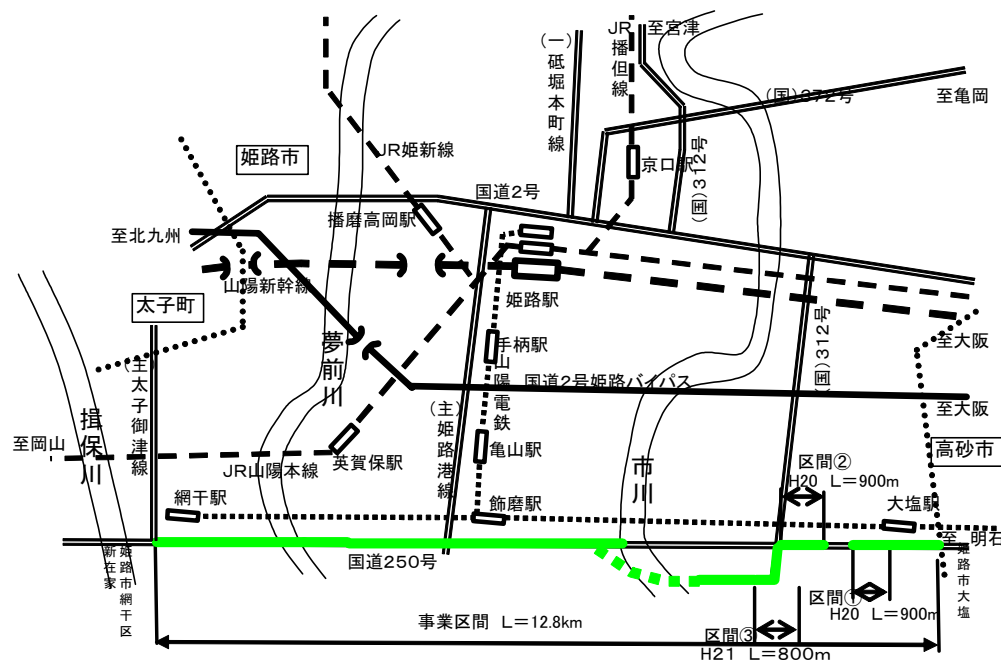
・朝夕の交差点付近の交通混雑による走行速度の低下により、沿道環境が悪くなっている  
⇒ 立体化による渋滞緩和により沿道の環境が改善

(2)暮らし・環境  
②道路環境対策

沿道環境対策

一般国道250号沿道環境改善(姫路市)(兵庫県)

低騒音舗装施工により交通車両による騒音の低減を行う



・交通量が多く、昼夜とも騒音値が環境基準を超過し、騒音問題が深刻化  
⇒ 低騒音舗装の施工により、道路騒音が低減



## (2)暮らし・環境

### ③地球温暖化対策

#### 自転車走行環境の整備

新金岡地区 新金岡80号線外自転車道整備(大阪府堺市)

#### 自転車走行環境を整備し、環境負荷の軽減を図る



##### 計画内容

- ・箇所名:堺市北区新金岡町
- ・延長:L=約463m
- ・事業着手:平成20年度
- ・自動車交通量: 1,526台/12h
- ・自転車交通量: 1,794台/日
- ・歩行者交通量: 703人/日
- ・法指定通学路:該当
- ・交通事故発生状況  
H13~H17(5ヶ年間):13件  
(うち死亡事故:0件)
- ・自転車通行環境整備モデル地区該当

##### 施工前



##### 施工後



##### 整備イメージ

- ・大型商業施設をはじめ、駅、区役所、小学校、病院、保育所などの公共施設が集積する地区
  - ・生活関連経路となっており、歩行者・自転車利用者の利用が非常に多い
  - ・歩道幅員が狭小であるために、双方が錯綜し安全・快適に通行できない状態にある
- ⇨ 自転車走行環境の改善を図り、環境負荷の低い自転車利用の促進を図る

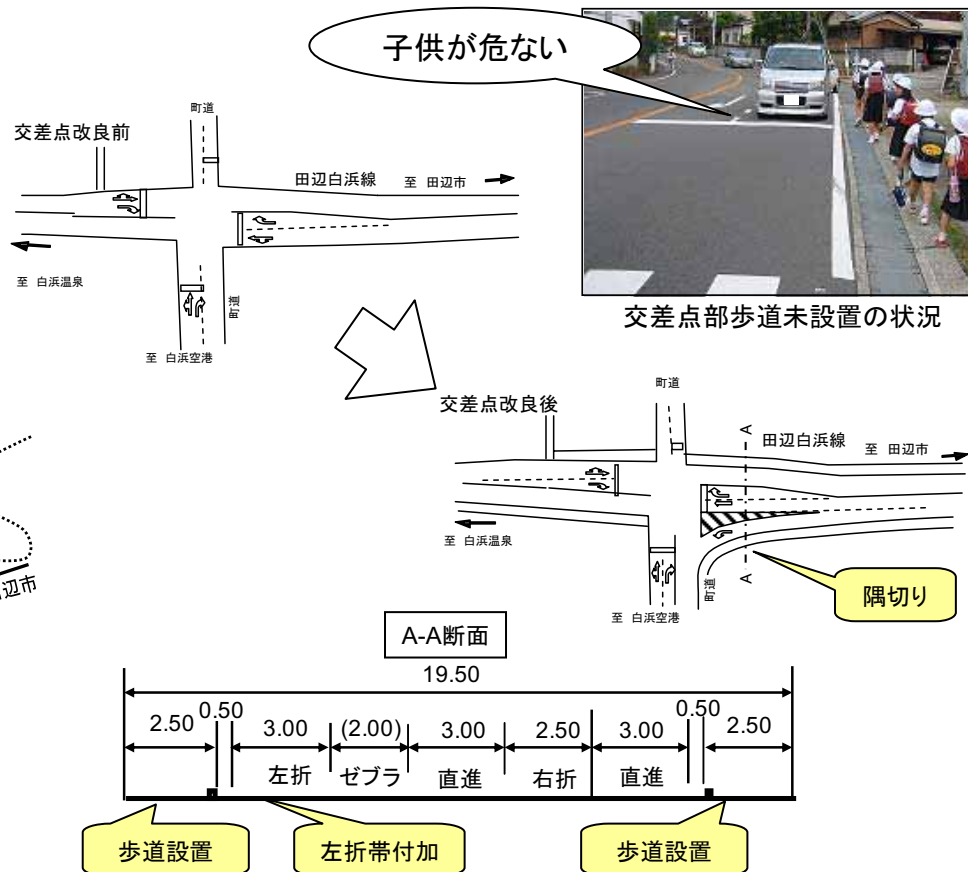
### (3) 安全

#### ①交通安全の向上

#### 交差点改良

主要地方道田辺白浜線(大浦交差点)交通安全施設等整備(和歌山県)

交差点改良・歩道設置による安全性の向上により、交通事故を減少



・観光シーズン中は交通量が増加、歩行者が危険にさらされる

⇒ 交差点改良により、自動車の安全性向上と円滑な交通を確保  
歩道の設置により、通学生等歩行者の安全を確保

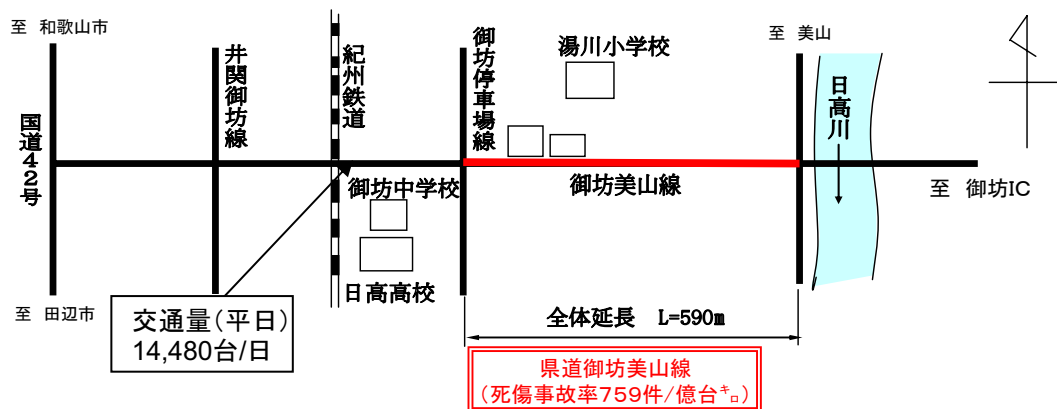
### (3)安全

#### ①交通安全の向上

歩行空間、バリアフリー対策

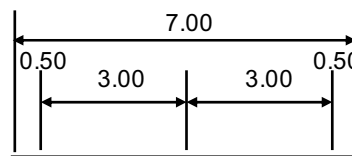
主要地方道御坊美山線 交通安全施設等整備(和歌山県)

### 歩道設置により、歩行者等道路利用者の安全性向上



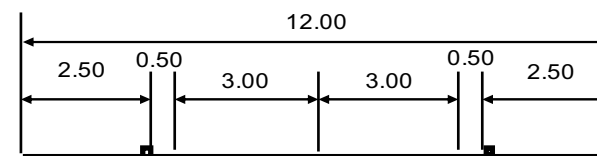
歩道未設置区間

歩道設置前



歩道設置済み区間

歩道設置後



平らな歩道・誰もが安心

- ・国道42号と近畿自動車道紀勢線御坊ICを連絡するため、交通量が多い上、歩道がないため危険  
⇒歩道の設置により、歩行者と自動車を分離し、歩行者の安全性向上、自動車の走行性向上を図る

### (3)安全

#### ①交通安全の向上

歩行空間、バリアフリー対策

梅田地区 バリアフリー事業(大阪府大阪市)

誰もが安全かつ安心して通行できる道路交通環境の実現

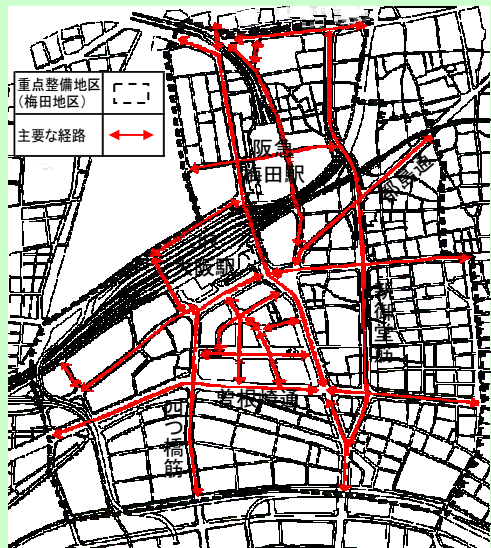


「わがまちウォッチング」の様子



放置自転車の状況

(撮影:大阪市)



梅田地区交通バリアフリー基本構想  
における主要な経路図

事業実施



整備前(梅田地区)



整備後(梅田地区)

(撮影:大阪市)

- ・現地点検会「わがまちウォッチング」の開催
- ・大阪市内24地区において「交通バリアフリー基本構想」策定
- ・大阪市の駅周辺における放置自転車台数は全国ワースト1 約5万台【平成19年「駅周辺における放置自転車等の実態調査の集計結果」(内閣府)】

- ・「基本構想」の主要な経路を中心に視覚障害者誘導用ブロックの設置  
歩道の段差改善・勾配修正 等
- ・放置自転車対策の強化

・本格的な高齢社会の到来(平成25年には国民の4人に1人が65歳以上と推計)(H21高齢社会白書)  
⇒ 誰もが利用しやすい、バリアフリーな歩行空間の整備を推進

### (3) 安全

#### ① 交通安全の向上

#### 自転車走行環境の整備

福井市大和田地区(国道8号)(福井県)

#### 自転車走行空間の確保により歩行者、自転車の安全性が向上

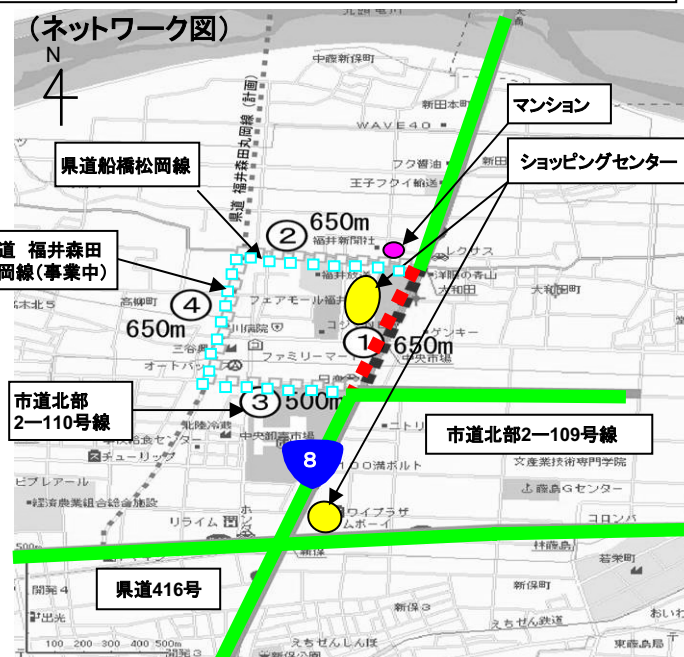


福井市大和田地区

分離された自転車の走行空間が無いことから、歩行者と自転車が混在しています。



(位置図)



(ネットワーク図)

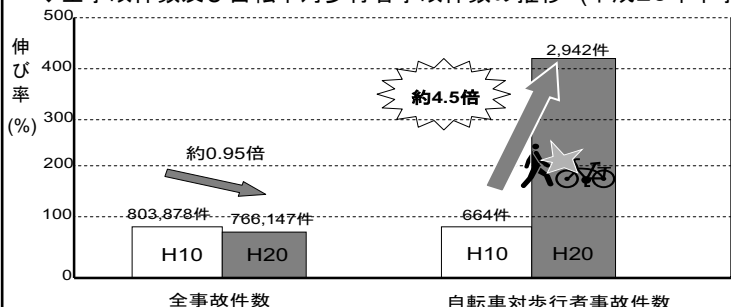


日刊県民福井新聞  
平成20年1月19日

#### 自転車×歩行者の事故は4.5倍に急増

【自転車対歩行者事故の増加】

◆全事故件数及び自転車対歩行者事故件数の推移 (平成20年中事故)



- ・自転車と歩行者が分離された自転車歩行空間の不足や、自転車を利用する場合のルールやマナーが十分守られていないことによる自転車、歩行者の接触事故が増加
- ⇒ 歩行者と自転車の空間の分離や警察と連携し自転車利用のルールやマナーについて周知することにより、歩行者と自転車との錯綜が解消され、安全・安心・快適な走行空間の確保

### (3)安全

#### ①交通安全の向上

自転車走行環境の整備 福知山市土師地区（京都府）

自転車走行空間を確保し、歩行者と自転車の事故を防止



歩道は小学校への通学路でもあり、朝の時間帯は自転車・歩行者が錯綜し危険な状況



自転車レーンの整備イメージ

- ・多くの自転車が歩道を通行し、歩行者と自転車が錯綜
- ⇨安心・安全な歩行空間、安全・快適な自転車走行空間を確保

(3)安全

①交通安全の向上

**踏切対策** 主要地方道鯖江美山線(第一新出踏切改良)(福井県)

踏切の撤去により安全性が向上、人も車も安全で快適に



福井新聞社提供(H12. 9. 13)



立体交差化



・踏切により渋滞が発生するとともに、周辺の通学路は歩道がなく危険  
 ⇨ 踏切撤去により、地域分断・渋滞の解消を図る  
 歩道の設置により、通学路の安全性を確保する

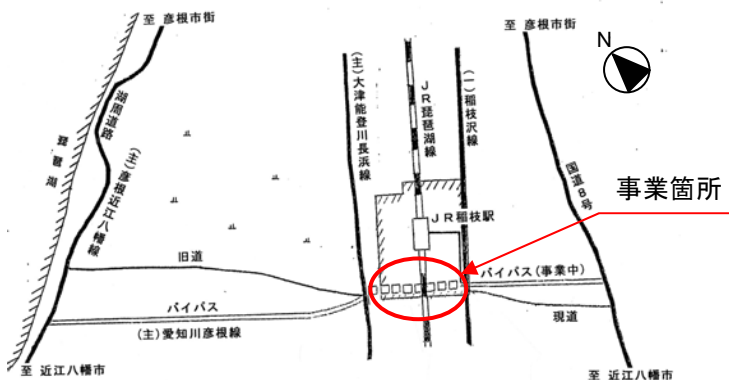
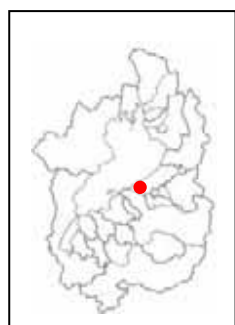
### (3)安全

#### ①交通安全の向上

#### 踏切対策

主要地方道愛知川彦根線(稲枝・彦富工区) (滋賀県)

踏切の撤去により安全性が向上、人も車も安全で快適に



完成予想図



現況写真



踏切による渋滞

自転車歩行者道がない

鉄道との立体交差化により

- ・踏切遮断による渋滞を解消
- ・歩行者等の安全な通行を確保

・国道8号と湖周道路を東西に連絡する幹線道路において、踏切が支障となって渋滞が発生  
⇒ 踏切の立体交差化により、自動車および歩行者等の安全で円滑な通行を確保



### (3)安全

#### ②防災・減災対策

#### リダンダンシーの強化

#### 鳥取豊岡宮津自動車道（京都府）

災害や雪害に強い安心・安全な道路交通ネットワークを確保



・H16年の台風23号では府北部への幹線道路が通行止め。緊急物資、食料品の輸送が困難  
⇒ 災害等緊急時の代替路の確保による安心・安全の確保

(3)安全

②防災・減災対策

**リダンダンシーの強化** 一般国道305号 河内～奥野々道路 (福井県)

交通不能区間を解消し、災害・事故発生時の迂回が可能に

The image is a composite of four parts. On the left is a map of Fukui Prefecture with a red starburst and text '国道8号に迂回路が無い' (No detour route for National Route 8). In the center is a detailed map of the Kawanishi-Okiyama road (L=6.4km) showing a tunnel (約2.7km) and a '交通不法区間' (Traffic illegal zone). To the right is a photograph of a dense forest. Below the photograph is a newspaper clipping titled '国8で大型トラックと衝突 運転の男性死亡' (Collision with large truck on National Route 8, driver dies), dated H20.10.15, provided by Fukui News Agency.

**通行止めが発生しても迂回が可能に！**

**この時は、国道8号が4時間通行止めに！**

・福井県の南北を結ぶ国道8号では、急峻な地形のため災害・事故による通行止めが頻発  
⇒ 国道8号と国道365号が接続され、災害時の迂回が可能に

### (3)安全

#### ②防災・減災対策

#### 耐震対策、防災対策

#### 一般国道8号防災(福井県)

国道8号の冬期における安定した交通の確保、交通事故の減少等、安全で安心な日常生活を支える道路として期待



■倒木による車道閉塞

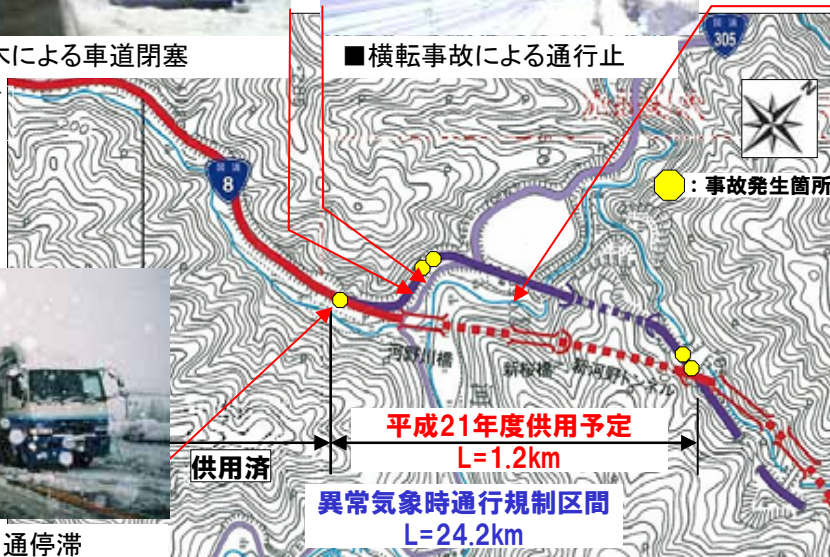


■横転事故による通行止



■堆雪帯の狭い老朽化した橋

至 敦賀市  
(至 滋賀)



● : 事故発生箇所

供用済

平成21年度供用予定

L=1.2km

異常気象時通行規制区間

L=24.2km

至 越前市  
(至 石川)



■積雪による交通停滞

過去10年間で豪雪による交通停滞が2回(最大渋滞長38km、延べ6日間)、  
事故による通行止回数が5回(延べ約23時間)発生



H17.12.16 日刊県民福井新聞 23面

食料品など生活  
必需品が不足し  
生活危機に!

サンタ来ない!



H17.12.24 19面  
日刊県民福井新聞

・線形不良や急峻な地形、幅員狭小により、冬期には事故などによる交通停滞が度々発生している  
⇒ 堆雪幅設置による冬季交通の確保と共に、線形改善による交通事故減少の期待

### (3)安全

#### ②防災・減災対策

#### 耐震対策、防災対策

#### 一般国道8号姉川橋架替(滋賀県)

老朽橋の架替による緊急輸送道路の安全性の向上、大型車通行規制の解除及び地域の産業活動の支援



#### 【姉川橋】

- ・昭和29年架設され築55年経過した老朽橋
- ・老朽化で強度が低下

#### 現況



- ・国道8号の姉川橋は、老朽化により強度が低下し、総重量20t以上の車両は通行禁止となっている
  - ⇒ 架替により、緊急輸送道路の安全性及び信頼性を向上
  - 大型車通行規制を解除し、地域の連携強化や産業活動(物流)を支援

### (3)安全

#### ②防災・減災対策

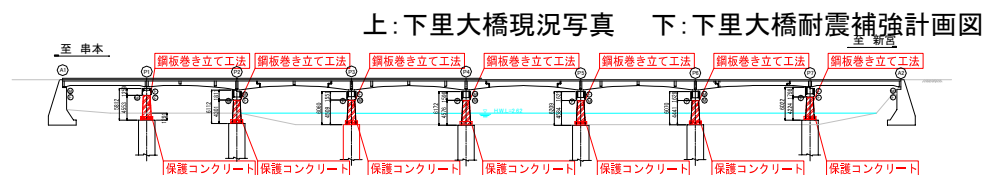
#### 耐震対策、防災対策

一般国道42号下里大橋耐震補強(和歌山県)

緊急輸送道路の耐震補強対策を実施し、安全性・信頼性の向上



一般国道42号は紀伊半島で**唯一の幹線道路**であり、地震により橋梁が落橋すれば、地域は陸の**孤島化**。



- ・第一次緊急輸送道路として位置づけられており、経済活動や地域の生活道路として大きな役割を担う
  - ・地震で落橋した場合、被災地の救援・復旧活動に大きな支障をきたす
- ⇒ 橋梁の耐震対策により、安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保

### (3) 安全

#### ② 防災・減災対策

#### 耐震対策、防災対策

#### 一般国道169号上北山道路(奈良県)

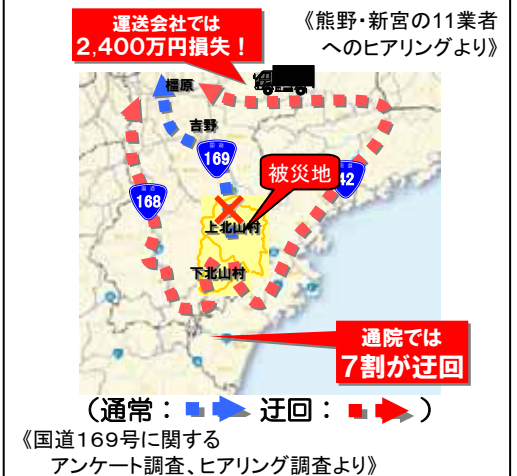
### 土砂崩落多発箇所の抜本的対策により安心・安全な住民生活を確保



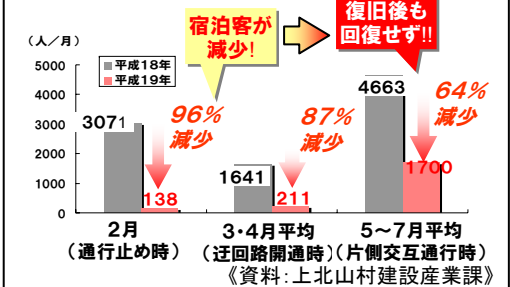
#### ■ 国道169号土砂崩落状況



#### ■ 通行止めによる迂回を強いられ多大な損失が発生



#### ■ 通行止めで宿泊客は減少 復旧後も回復せず



・県北中部との生命線道路が災害に対し脆弱であり、孤立化の不安が消えない  
 ⇨ 通行時の危険、通行止めによる孤立化、生活の不安の解消が期待

### (3) 安全

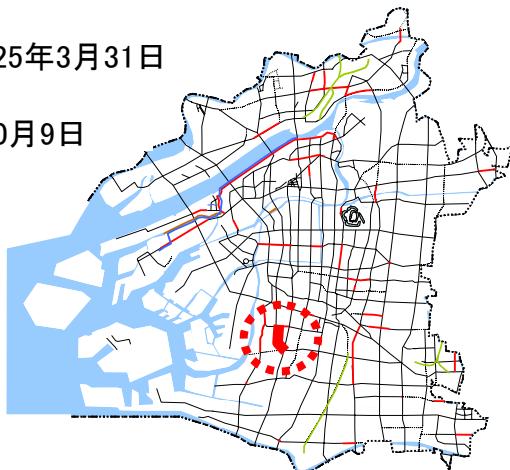
#### ② 防災・減災対策

#### 耐震対策、防災対策

(都)加島天下茶屋線 (大阪府大阪市)

### 「重点密集市街地」における防災性の向上および地域環境改善

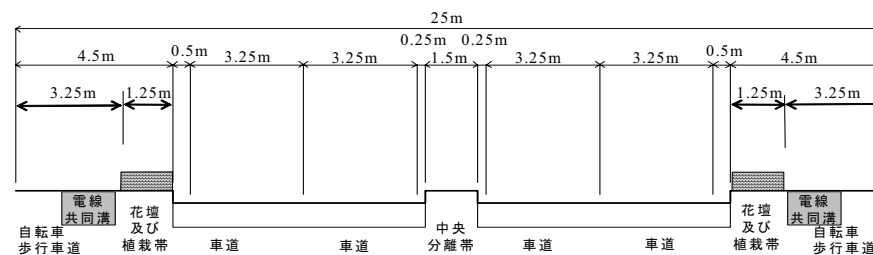
- 都市計画決定: 昭和25年3月31日
- 事業認可: 平成8年10月9日
- 整備延長: 1,090m
- 整備幅員: 25m



整備前 (大阪市西成区橋付近) 整備後



標準横断面図



(大阪市西成区橋付近)

➤住宅地と商工業地が混在した密集市街地

➤近年、高齢化とゴミの不法投棄などが課題になっていた。

現道部分(4~6m)の拡幅(全幅25m)に併せ、電線共同溝整備(無電柱化)により、防災性の向上を図り、歩行者の安全を確保するとともに、環境整備としての植樹帯及び花壇を設置した。

- ・地域の安心・安全な生活を実現するため、都市計画道路の整備が強く求められている
  - ⇒ 道路拡幅等による防災性向上や歩行者の安全確保、地域との協働による環境整備の向上

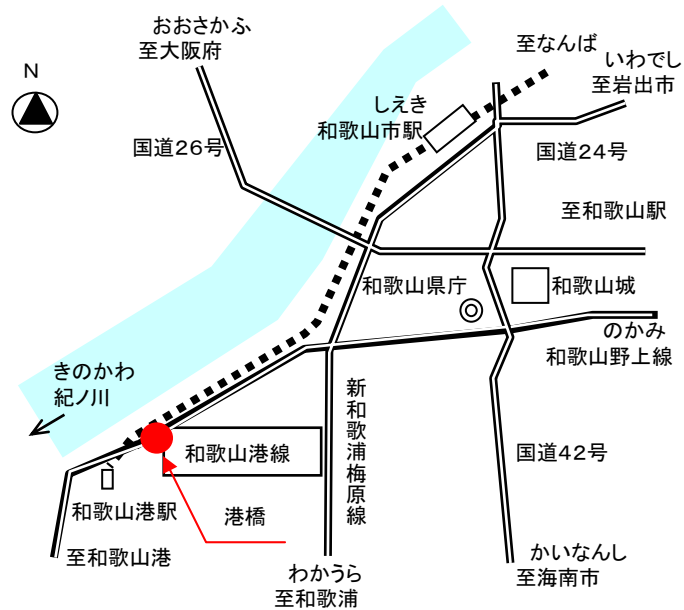
#### (4)ストックの有効活用

##### ①安全・安心で計画的な道路管理

### 橋梁長寿命化

主要地方道和歌山港線[港橋](和歌山県)

予防保全により橋梁を長寿命化し、ライフサイクルコストを縮減



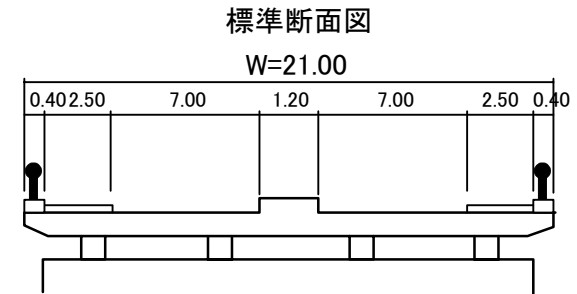
平日交通量 19,370台/日  
大型車交通量 3,342台/日



港橋 現況写真



損傷状況



床版補修例  
(主要地方道 橋本五条線 両国橋)

建設後26年が経過しており、大型車の通行も多く、健全度の把握が必要

⇒ 大規模な修繕や更新に至る前に、橋梁の長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、ライフサイクルコストを縮減



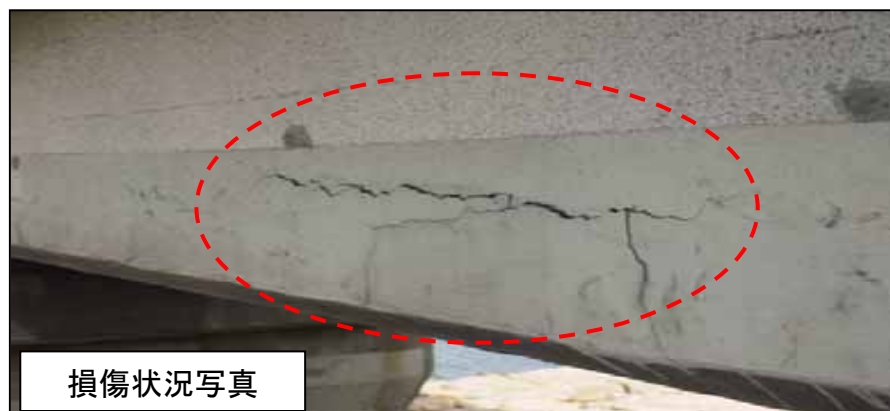
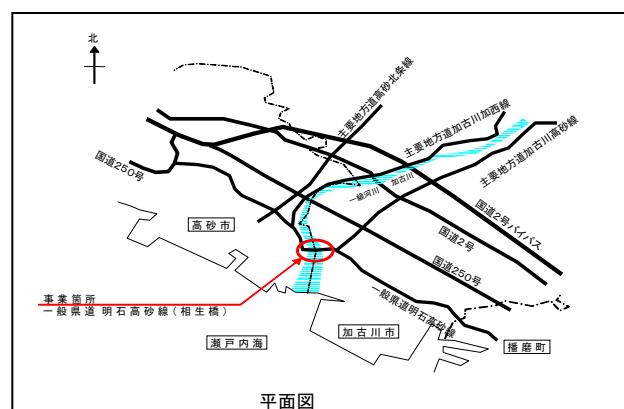
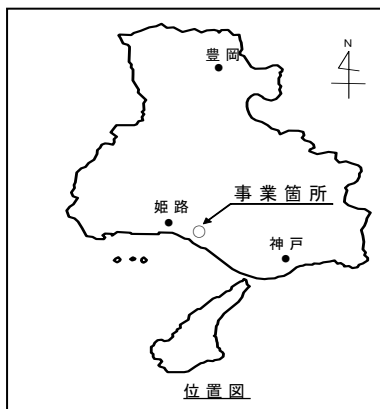
#### (4)ストックの有効活用

##### ①安全・安心で計画的な道路管理

### 橋梁長寿命化

一般県道明石高砂線 相生橋橋梁補修(兵庫県)

予防保全により橋梁を長寿命化し、安全で信頼できる道路橋を確保



- ・計画的な予防保全により橋梁の長寿命化を図ることが必要
  - ⇒ 橋面の損傷部や端部からの浸透水を防止して、構造体を劣化から守る
  - ⇒ コンクリート損傷部(ひびわれ)にクラック注入材を注入し、断面修復及び再劣化を防止する

(4) ストックの有効活用

② 既存高速道路ネットワークの有効利用・機能強化

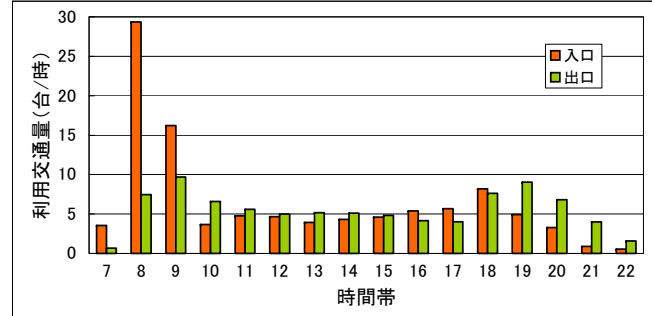
**スマートインターチェンジ** 北陸自動車道 南条スマートインターチェンジのフル化(福井県)

高速道路利用者の利便性向上により地域経済の活性化に寄与



■南条スマートIC (入口)

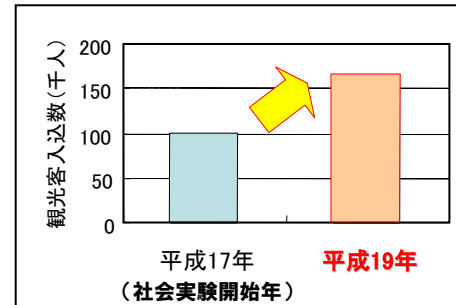
■南条スマートIC 時間帯別利用交通量(平日平均)



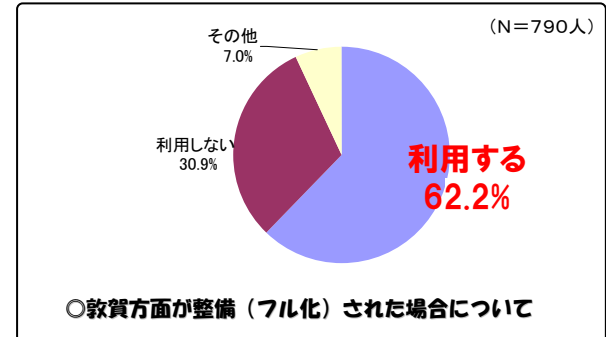
南条スマートICの利用車は、朝の通勤時間帯に集中

※社会実験は、既存SAを活用し、福井方面のみの HALF で実施

■南条スマートICから4km圏内における観光客入込数の変化



■南条スマートIC周辺住民アンケート



南条スマートIC社会実験を開始して以来、観光客数は増加傾向  
また、アンケートでは周辺住民の多くがフル化整備に期待

・朝夕の通勤ピーク時において、北陸自動車道と並行する幹線道路(国道365号)が慢性的に渋滞  
⇒ 幹線道路の渋滞を回避し所要時間が短縮  
利便性向上により物流効率化、観光など地域の活性化に寄与